

平成30年第1回滝川市議会定例会市政執行方針等に対する代表質問

質問順位	1	質問者	東元勝己議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. 市長の基本姿勢について	1. 2期目の最終年度となる市長は、今年の一文字として「明」を掲げられていますが、改めてこの文字に込められた市長の行政運営へ向けた思いを伺う。		
2. 元気な産業と活力あるまちづくり	1. 地域おこし協力隊について	1. リンゴ栽培技術と羊文化継承のため採用された地域おこし協力隊の現時点での成果と今後の計画について伺う。また今年度末で期間満了となる隊員への起業経費補助金が予算計上されているが、具体的な起業内容を伺う。		
	2. 力強い産業の育成・雇用の確保について	1. 企業誘致の推進については、これまでも取り組んでこられているが、実現できれば雇用の確保や地域経済への波及効果など、さまざまな好循環が期待できる。現状での企業誘致活動の課題について伺う。		
3. 豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり	1. 広域観光の推進について	1. 今までの団体旅行は、旅行会社などが送客してくれる観光客に対して地域の業者や観光協会が対応する「発地型」の仕組みでしたが、近年、団体旅行から個人旅行へ移行が進み、多様で個別化したニーズの観光客が増え対応できなくなっている。そこで地域自ら商品（サービス）を開発し観光客を集客してもてなす「着地型」に取り組みを変換する動きが出てきている。昨年、滝川砂川着地型観光推進協議会が設立されたが取り組みなどが見えづらいと感じている。 現在の状況と今後の方向性、課題、見込まれる成果等について伺う。		

質 問 順 位	1	質 問 者	東 元 勝 己 議 員		
件 名	項 目	要 旨		メ	モ
4. 誰もが住みよい安全 安心なまちづくり	1. 市内公共交通の充実について	1. J R根室本線の維持・存続については、現状での決着へ向けた方向性に対して、どのような想定が考えられるのか伺う。			
	2. 安心して暮らせる保健・医療 環境の充実について	1. 市立病院の小児科診療体制の縮小には、多くの市民が不安を抱えている。医師不足による診療科それぞれの診療体制への影響など経営計画の着実な実施には多くの困難がある。医師の派遣を受ける医療機関の努力も限界にきている。医師不足の原因が何なのかを伺う。			
	3. 災害に強いまちづくりについて	1. 阪神大震災を契機に災害ボランティアが被災地の復興に重要な役割を担ってきている。本市においても災害ボランティアセンターの設置・運営が検討されているが、どのような運営形態になるのか伺う。			
		2. 東日本大震災が発生して7年が経過した。近年冬場の防災対策に注目が集まっている。特に今年のような豪雪時の避難行動や避難所の運営には課題が多い。常に最悪の状況を想定し準備することにしたことはないが、費用・人員などさまざまな制約があります。現状の本市における冬期間の災害対策について伺う。			

質 問 順 位	1	質 問 者	東 元 勝 己 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
5. 市民が活躍するまちづくり	1. 市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについて	1. 「滝川市男女共同参画推進計画」の後期5カ年の計画が策定されました。基本理念の中に「就労等における男女共同の確保」を掲げられている。5年後の目標を達成するため、どのような施策を考えているのかを伺う。		
6. 効率的な行政によるまちづくり	1. 歳入確保について	1. 当市のふるさと納税は、担当部署の努力もあり順調に伸びている。米やジンギスカン等をメインとしながら、当市独自の商品開発（例えば丸加高原での体験型・宿泊型のクーポン券など）が必要と考えますが、今後のふるさと納税事業充実強化策について伺う。		
7. 教育行政	1. 学校教育について	1. 小・中学校の適正配置計画については、迅速に進めなければならない問題である。計画の前倒しが必要との声さえ出ている。「中1ギャップ問題」も根底から考える必要があり、教育委員会の今後の進め方を改めて伺う。		
		2. 江部乙地区では小学校入学者数が一桁になりつつある。大変な問題であり、早急な対応が必要だ。教育長の考えを伺う。		

質 問 順 位	1	質 問 者	東 元 勝 己 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	2. 社会教育について	1. 全国大学生協連が1日の読書時間について、大学生の53%が「ゼロ」と回答したとの調査結果を発表した。本離れが若い世代で進行している実態が明確になっている。高校までの読書習慣が全体的に身に付いていないことの影響が大きいと指摘する意見もあるが、本市における子どもの読書環境整備対策について伺います。		
		2. 福寿大学が先月閉校式を迎えた。幅広い年齢層の中でも、とりわけ高齢者の「学びたい」という意欲は、今後益々増えるものと思われる。福寿大学に代わる今後の高齢者の学習環境づくりについて伺う。		
	3. スポーツの振興について	1. ピョンチャン冬季オリンピックでは、日本選手が冬季オリンピックとしては過去最高のメダル獲得数で閉幕した。次は2020 東京オリンピックである。今後の東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致へ向けての取り組みと見込みについて伺う。		